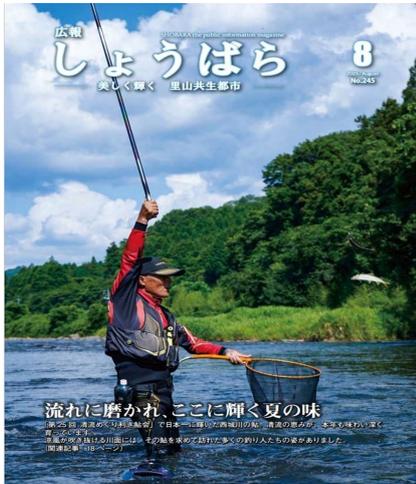


## 写真部門・一枚写真の部

### 最優秀賞

#### 庄原市『広報しょうばら』（令和7年8月号 表紙）



■担当課：行政管理課

■連絡先：0824-73-1159

#### 【担当者より（掲載意図）】

「第25回清流めぐり利き鮎会」で日本一に輝いた西城川の鮎を表紙に据えることで、特産品としてのPRを行うとともに、評価の背景にある物語を読み手に想起させたいと考え、取材を行いました。

稚鮎の放流、河川清掃、そして早朝から川に立つ釣り人たちといった、水辺の営みを広報紙として可視化することで「地域の誇りを地域自身が再発見する機会」を作ることを狙っています。

#### ＝講評＝

- 鮎や人物が鮮明に写り、一瞬合成かと思うほどだった。
- 写真とキャッチコピーがドラマチックで、鮎釣りの臨場感が伝わってくる。
- 大自然の迫力と鮎釣りの躍動感が圧巻であり、自然豊かな庄原に行ってみたくなる一枚である。

### 優秀賞

#### 府中市『広報ふちゅう』（令和7年10月号 表紙）



■担当課：広報統計係

■連絡先：0847-44-9131

#### 【担当者より（掲載意図）】

より魅力的かつ印象的に上半身の駆動と鍛えられた筋肉を表現することにこだわり、サーブの瞬間を狙いました。キャッチフレーズと絡ませることで、特集ページへの導入としての役割を与えています。

撮影においては、より被写体を強調させるため背景をシンプルにしたかったので、下から撮影して中望遠で空を背景に捉えるよう工夫しています。被写体の輪郭が照らされるよう半逆光となる向きにも意識しながら、激しい動きに対応できるようシャッタースピードを上げて連写で収めました。また、空のディティールは残したかったため、被写体の露出は現像で補正することを前提として、ヒストグラムで黒つぶれしないことを確認しながらRAWで暗めに撮影しています。

#### ＝講評＝

- イメージ通りに撮りたい写真を撮影できている。
- RAW 現像も行い、クオリティーアップが図られている。
- スタイリッシュな写真と色味、デザインが特徴的である。
- 空とコピーの配置、背景・フォントの色も人の動きを邪魔せず良い。
- 背景のぼかし、主役の動作により、目を引き付けられる。
- 薄い色の背景に白字なのがおしゃれである。

## 写真部門・組み写真の部

### 最優秀賞

### 安芸高田市 『広報あきたかた』 (令和7年10月号 4～5ページ)



■担当課：秘書広報課

■連絡先：0826-42-5627

#### 【担当者より（掲載意図）】

10月号に掲載した組み写真は、大阪・関西万博で本市の神楽を披露した際の躍動の様子を複数の写真を組み合わせで表現した。今回の万博では、徳島の阿波踊りとのコラボレーションも行われ、日本の伝統芸能が交わることで生まれた新たな表現が万博のステージを彩った。

組み写真という手法を用い、舞手・踊り手の躍動感や力強さとそれに魅了される観客の一体感を表現した作品となった。

#### ＝講評＝

○表現、技術、レイアウトが圧巻の作品である。

○波のような写真配置やキャッチコピーの入れ方で、神楽の躍動感と迫力が伝わってくる。

○キャッチコピーやリード文の大きさ・配置のバランスが良い。

○人物の数、斜めの構図、キャプションの角度や文字の大きさが組み合わせさり、躍動感が強く伝わってくる。

### 優秀賞

### 三原市 『広報みはら』 (令和7年12月号表紙)



■担当課：広報戦略課

■連絡先：0848-67-6007

#### 【担当者より（掲載意図）】

本号の表紙は、市が重点的に取り組む移住・定住施策の特集ページと連動しています。年末の帰省や親戚宅で過ごす際に手に取る読者へ、「三原での暮らしがいいな」と感じてもらうことを狙いとして撮影しました。

モデルとなったのは、三原市の中山間地域・久井町に移住してきた、スイス人の刀鍛冶とそのパートナーの女性です。めくってから、特集の人物紹介に自然に入っていけるように、人物の配置や、雰囲気を合わせるといったレイアウトの組み方を工夫しています。

#### ＝講評＝

○自然な表情とメリハリのある写真、レイアウトが魅力的である。

○三原での暮らしがイメージでき、「刀」のデザインに効果的に組み込まれている。

○背景処理やキャプションの工夫により、人を主役にした分かりやすい構成になっている。

○一目で「移住者」と分かる写真と表紙のデザインが斬新で特集ページも見たくなる。